



新規感染者数も減少傾向になり、コロナ禍も落ち着いていくのではないかと思います。本校では、新人戦が終了し翔空祭に向けて準備を進めているところです。昨年度は学年発表のみで保護者入替制での公開でしたが、本年度は、家族2名までではありますが、合唱発表も含め全日程を公開する予定です。なお、感染状況等により変更になる場合は、ご連絡いたします。

特集

思春期の子ども心理と中学生と上手に向き合う3つのコツ！

思春期の子どもの中は、どのようになっているのでしょうか。中学生の心を例えるなら、怒りや喜び、悲しみ、いら立ちといった感情が混ざり合い、心の中が溢れそうになっている状態です。ちょっと分かりにくいですね。あなたは、普段中学生の子どもに対しどのように向き合っていますか。

思春期の子ども心理

思春期の子どもは、とても不安定です。思春期の子どもは、「依存」と「自立」の間で揺れています。あなたから自立しようとする一方で、甘えたい気持ちもあります。思春期は、あなたからの自立を目指して悩む時期なのです。また、思春期の子どもは 周りからの目を非常に気にします。「どう見られているのだろう。」「浮いていないかな。」などと、常に周りを気にしているのです。さらに、「自分は何だろう。」「生きることにはどんな意味があるのだろう。」といった、複雑なことを考える時期でもあります。これらは、大人になるために必要な悩みや葛藤です。これらの悩みや葛藤を通して、子どもは成長していくのです。

思春期の中学生との向き合い方3つのコツ

このような複雑な心理状態の子どもとは、どのように向き合えば良いのでしょうか。

- ① 子どもの「思春期」を認め、心に余裕を持つ
「思春期の子どもは不安定で、親に対して反抗することもある。」ということをしっかり認識することです。また、そのうえで子どもの「成長過程」として認めてあげることが大切です。思春期の中学生との向き合い方とは、あなたが心に余裕を持つことなのです。
- ② 悪いことをしたら時間は短くしっかり叱る
もし子どもが悪いことをしたら、「お母さん（お父さん）は、それは絶対にしてはいけないことだと思っている。やめなさい。」と、叱ってあげましょう。このとき、話は短く終わらせるのがコツです。
- ③ 「ダメなものはダメ」という強い意識を持つ
子どもが反発するのには、あなたに「見てもらいたい」「叱ってもらいたい」という想いが混ざっているのです。そのため、あなたが子どもをしっかり叱らないと、子どもの悪さはどんどんエスカレートすることになります。

いかがでしょうか。思春期の子どもは、ぐちゃぐちゃしていて不安定です。この複雑な心理をあなたがしっかりと認め、心に余裕を持って向き合っていきたいですね。

(参考 <https://www.sisyunki.net/article/sinri-tyugakusei.html>)

